

平成29年度 第1回魚津市総合教育会議 議事録

平成29年10月5日(木)  
16:00~17:03  
魚津市教育委員会会議室

【出席者】市長 村椿 晃  
教育長 畠山 敏一  
教育委員 伊東 潤一郎、島津 豊、宮本 玲子、細川 祝  
事務局(企画総務部長、教育委員会次長、企画政策課長、教育総務課総務係長 他)

【議事録】

事務局 (企画政策課)	<p>予定の時間となりましたので、ただいまから平成29年度の魚津市総合教育会議を開会いたします。</p> <p>それでは、会議の開会にあたり、魚津市長 村椿 晃が、一言ごあいさつを申し上げます。</p>
市長	<p>お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>新しく伊東さんをお迎えしての第1回総合教育会議になります。いっしょに魚津の教育を考えていきたいと思っております。</p> <p>昨年10月にも総合教育会議を開いてICTのプランを中心に意見交換をおこないました。</p> <p>今日は教育の充実という大きなテーマで自由に意見交換したいと考えています。意見交換の題材として、英語教育、ICT先進事例の紹介を先に行います。その上でみなさんと意見交換し、時間があれば自由な意見交換もしたいと思います。</p> <p>魚津市はYKKと教育の協定を行いました。先人教育を中心とした内容です。住吉小学校の統廃合もあり、YKKとしてどう教育にコミットするか考えられました。郷土魚津がさまざまな分野で先人を輩出してきた。そのような視点でふるさと教育をしてほしい。というのがYKKからのオーダーでした。</p> <p>教育は大切です。社会システムとして非常に大きな要素であります。</p> <p>南砺市の井口地区で小中一貫校の検討を行うと新聞に出ていました。人口減対策の側面もあり、地域振興を含めた全般的な効果もあります。</p> <p>みなさんと意見交換していきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
事務局 (企画政策課)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは議事に入りたいと思います。ここからの議事の進行は、市長にお願いいたします。</p>
市長	<p>それでは、議事に入ります。</p> <p>議事1の「教育環境の充実について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (教育委員会)	<p>事務局より説明 &lt;教育環境の充実について&gt;</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校規模適正化</li> <li>・英語教育</li> <li>・教育用 ICT 整備</li> <li>・通学の安全安心</li> </ul> <p>&lt;先進事例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校英語教育の推進（京都市、黒部市、舟橋村）</li> <li>・ICT 活用事例（射水市、つくば市）</li> </ul>
市長	<p>教育内容の充実ということで、英語教育ですとか、ICT、通学の安全、ふるさと教育ということで、これはタウンミーティングで使用している資料です。英語教育と ICT はいわば最先端に近いところでやっつけていこうとのことでご報告させていただきました。</p> <p>この内容に限りませんので、魚津の教育の充実、子ども達の教育という面で、思いやお考えになっていることを伺いたいと思います。</p> <p>宮本先生からお願いできますでしょうか。</p>
宮本委員	<p>小学校英語教育についてですけれども、文科省の先生方がいらっしゃいまして色々教えていただきました。来年から移行措置が始まるということで、どうしても英語外国語科をいれていかないといけないんですけれども、現場の先生方は英語の指導に負担感を持っているのではないかと思います。</p> <p>説明にあったように、研修会など計画されているかと思うのですが、とにかくにも ALT の方、地域人材の方など、一緒にチームティーチングをしている方がいないことには、先生の負担が大きいのが心配です。先生にとって辛いものになってしまうと、子どもにとっても辛いものになってしまうのではないかと感じました。</p> <p>先生方をサポートする体制を整えなければならないのではないかと感じておりました。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>英語教育に限らず、ICT もそうですが、指導体制、先生方へのケアといいますか、先生に意欲をもってもらおう応援が大事だと教育長とも話しております。</p> <p>一方で人が増えてくると、財政負担とのバランスとなってくる。教える側の方が意欲を持って組み立てていかないと、子ども達も楽しくないので、まずそこをしっかりとやる必要があると教育長とも話しています。</p> <p>一気には無理ですが、英語教育も ICT も平均より下という現状を認識して、どうステップを踏んでいくかというのをしっかりとやっていきたいと思っております。</p> <p>細川委員いかがでしょうか。</p>
細川委員	<p>射水市のように ICT を実施してもらえたらいい、臨床心理士としては不登校傾向への支援として ICT 活用できないかと感じました。</p> <p>魚津市は中学校の支援体制は整っているほうだと思います。常に相談室にカウンセリング指導員がおられ、不登校の子どもがちょっと学校へ行ってみようと思ったときに、受け入れる部屋があることは素晴らしいです。ただ、来てなんにもやることがない。エネルギーが低下しているので、意欲をだ</p>

	<p>すことも難しい。</p> <p>安心してすごせる居場所として相談室は機能しているのですが、教室にもどりたいと思っても、単純に授業についていけないという不安をもつお子さんも結構おられる印象があります。集団活動が難しいお子さんもいる。文科省も無理に教室へ戻す支援ではなく、選択肢を広げる支援が大切という方針を出しています。集団で授業が受けるのが難しいお子さんにも、授業を受ける機会を平等に作るという支援が大切ですし、ICTの活用で効果が出せる面ではないかと思います。</p> <p>発達障害・学習障害など、本人の努力ではどうしようもない特徴で苦しんでいる事例もあります。悪気はないけれども学級崩壊を起こすきっかけになってしまう事例、先生も苦慮、まわりの子ども本人も苦しんでいる事例などもあります。</p> <p>支援学級に入って、サポートを受けられる状況であれば支援の体制は整っているが、グレーゾーンの特徴のあるお子さんやできることできないことアンバランスなお子さん、支援の手が届かないお子さんにも ICT はいいのではないかと思います。</p> <p>スタディメイトの支援がありますが、現状本当に足りていません。運よく受けられても週1日1時間、多くて2時間です。支援が必要だが放置せざるをえない。担任の先生も個々に対応していると学級運営が難しくなる。子供もかわいそうですが、授業がすすまないといほかのお子さんもかわいそうという悪循環を目にする。</p> <p>年度途中だとスタディメイトもお願いしづらい状況があります。1対1個別支援を増やしていく、人数を増やしてサポートできる機会、選択肢を増やしていけたらよいと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いろんなケースがある。対応策を考えていけたらと思います。</p>
島津委員	<p>英会話について申し上げますと、私は中高大勉強したけどしゃべれませんが、会社の出張でインドや韓国へ行くと、中学校レベルであれば聞いて理解することはできます。</p> <p>子供が小学校1年生のころインドへ行って、カルチャーショックを受けていました。笛を吹くとコブラが上がってくる、象が街を歩いている、野良牛ですとか、法律でたばこが吸えない、お酒飲めない地域があることなどについてです。インド人は喧嘩をしても、暴力はなく口論で終わるんですね。テープにとって送ったところ、子どもが英語に興味を持ちました。そんな経験もあってか、海外に興味を持ち、中学、高校では留学をし、英語推薦で大学へ進学しました。</p> <p>ただ文法を勉強するのではなく、外国人4、5人いる部屋へ子ども2人を入れるなど、恥ずかしさを超えて思い切ってやるしかない教育があれば案外すんなり耳にはいるのではないかと思います。</p> <p>早い時期から興味を持たせて、子どもの好きにさせる。いいのではないかと。英語にしる ICT にしろ、使い方を間違えるといけない。きちっとした教育をすれば、成長するツールになるのではと思うので、進めていってほしいと</p>

	<p>思います。</p>
市長	<p>伊東さんいかがでしょうか。</p>
伊東委員	<p>英語教育についてですが、子ども達にどのレベルをさせるのか。到達点を考慮したほうがよいと思います。小学校中学校でも到達点を書いていない。TOEIC で何点とらせるかなど。</p> <p>英語の論文読む機会がありますが、単語さえわかれば文法はそこまでできなくてもなんとかなります。そこを落とすどころにするのか、外国に一人で旅行に行ってメニューを見られるですとか、入国審査で答えられるですとか、まずどのレベルをミニマムとして考えるか。が決まっていな限り、英語の教育をどれだけするかが決まりません。</p> <p>英語で能力別クラスがないのは先進国で日本だけです。</p> <p>イギリスは年齢も関係なく能力別クラスです。ドイツは小中 9 年間、18 段階のレベルに分けて教育されています。小学校卒業時で最低でレベル 6 で、最高レベル 12 です。アメリカでも英語ができない子もいる。複式学級という形がとられています。言葉は能力別に教えていくことも必要です。</p> <p>ホームステイをしてよかったと思うお母さんは、正しい言葉を教えてくれるだけです。「間違った表現をしたら、正しくはこうだよ。」「それはこう表現するんだよ。」と教えてくれる。たとえば「のどが痛い。」というときは「sore throat」と言うんだよ。とお母さんが教えてくれる。言葉として覚えていく。という繰り返しです。そういうことを教育の中で教えてもらう機会をどう与えていくかではないか。</p> <p>それができないから、学校の先生方はすごい負担だと思います。海外赴任をした奥さんなどのボランティアをいかにたくさん集めて、正しい表現を子どもに教えていくのが、現在魚津市は遅れている中でやっていくのは面白いのではないか。</p> <p>あとは、まとめて学習を教育の中でできないのか。たとえば 40 時間英語を学ぶ場合、40 週に分けて週 1 時間学ぶより 4 時間×10 日学ぶほうが効率がよい。製造業をしていると、機械の使い方を新入社員に教えるが、数種類毎日少しずつ色々教えるより、まず 1 つの機械を 2,3 日、次に別の種類の機械を 2,3 日など、覚えるのは絶対に早い。機械などは特にまとめて教えます。復習に 2 割 3 割の時間を使います。1 週間たつと半分が復習になります。まとめて学習の考え方を入れていくと良いのではないか。</p> <p>ICT の活用についてですが、使うことが目的になっていませんか。と思う。フィンランド行ったときの経験談。人間の体の中ってどうなっているの。人体の模型を 3D で学ぶ。3D にするとわかりやすい。ICT を使うことが目的ではなく、ICT を使うことによって理解力が上がるなどの視点をつけていくと面白いのではないかと思います。</p>
市長	<p>伊東委員のご意見は、次のステップの水準のご意見だと思いました。</p>
教育長	<p>学習要領の改訂がありますが、英語教育の方向性は英会話 コミュニケーション能力を身につける方向。</p> <p>今までの反省であります。受験用の英語になってしまっていた。何を知っているか。知識理解を問う方向であった。</p>

	<p>これからは何を知っているかではなく、知識を使って何ができるか。というのがこれからの方向になっていくのではないかと思います。</p> <p>ICT を使えることにも意味はあります。今の世の中はそういった機器を使いこなせることも大事だとおもいます。</p> <p>教師の負担があるのではないかとということでしたが、教師も ICT を理解できれば、授業の補助的な機能として活用されうる。教師の授業を支える機器として使えます。</p> <p>子ども達がそういうものを使って、教えてもらうだけでなく、自分で調べる能力をつけていけると考えています。</p>
市長	<p>ICT はお金がかかるというのが悩みです。ICT 局長会議に 3 回出たのですが、機器の整備 OS 更新に財政負担が多い、先生がついていけない。その 2 点が各自治体共通の悩みです。</p> <p>財務省への要望としてあげております。また、サポートについては、メーカーさんや民間のサポート体制をどこまで得られるか。というところを議論しています。</p> <p>お時間が迫ってきましたが、今のテーマに限らず、今後魚津が教育への思いや、今後こういうことに着目してはどうかなど、お話いただけないでしょうか。</p>
島津委員	<p>高校の再編が話題になっていますが、魚津は高校 4 校、北陸能力開発大学校、5 つの学校がある。魚津は教育市であると考え、図書館や勉強するスペースなど、学生達のよりどころの場所があると、他の市町村からも流入するのではないかと。</p>
市長	<p>公立の教育体制を考えたとき、今までは小学校中学校も同じ仕組みのなかで展開していたが、これからは特色を強めていく時代になるのではないかと思います。</p> <p>そういう視点をもったときに、高校はどこまでアプローチできるかわかりませんが、小中学校は特色を意識してやっていかざるを得ないと思います。高知の土佐の事例が新聞記事にありました。中山間地の小中一貫校です。もともと、平成 14 年度 56 人の学校が 3 年間で 141 人になった。ここの特色は英語です。</p> <p>特色はなんでも良いが、特色を持った展開をしていかなければならないのではないかと思います。全体でどういう方向にもっていくか、どこで方向性をオーソライズするかというと、こういう総合教育会議というような場ではないかと。</p> <p>またみなさまとお話をしていけたらと思っています。</p>
事務局 (企画政策課)	<p>どうもありがとうございました。以上を持ちまして本日の魚津市総合教育会議終了とさせていただきます。</p> <p>17 時 03 分終了</p>